

メール: SpamAssassinを使用していますが、巨大なメールが届く時にサーバの負荷が非常に高くなります。

2008年9月1日を以ってSpamassassinのサポートは終了いたしました。
詳しくは[こちら](#)をご参照ください。

デフォルトのSpamAssassinはPerlスクリプトとなり、大きなメールや大量のメールでは処理が重くなります。
この為、cにより作成されたSpamAssassinのプログラムが用意されております。

しかし、WebminのSpamAssassinセットアッププログラムはこのcのバージョンには対応しておらず、通常どおりセットアップしますと、Perlのバージョンとなります。

今後も大きなメールを頻繁に受け取る見込みがある場合、このcのバージョンに変更していただくとうよろしいかと存じます。

SpamAssassinのspamcの使用の設定

予めSpamAssassinのセットアップは行っておいてください。

Usermin より「メール」 「Procmal Mail Filter」を開きまして、「Feed to program /usr/bin/spamassassin」を開きます。

「Delivery mode」にある、
「/usr/bin/spamassassin」
を
「/usr/bin/spamc」
と変更し、[保存]します。

以上で、cで作成されたSpamAssassinのプログラムが使用され、巨大なメールでも高速に処理されるようになります。

なお、/usr/bin/spamc は、デーモン起動版の SpamAssassin (spamd) を呼び出すラッパーコマンドとなっており、こちらを利用する場合には spamd がデーモンとして起動している必要がございます。

デーモン版 (spamd) は、起動シェル /etc/init.d/spamassassin より起動・常駐しますので、こちらの起動シェルより起動して下さい。

spamd デーモン起動

```
# /etc/init.d/spamassassin start
```

root 権限より実行して下さい。

spamd デーモン、サーバ起動時自動起動設定

メール: SpamAssassinを使用していますが、巨大なメールが届く時にサーバの負荷が非常に高くなります。

chkconfig spamassassin on

root 権限より実行して下さい。

一意的回答 ID: #1190

作成者: IXENT テクニカルサポート

最終更新: 2008-09-12 16:32